

会 議 録

会議の名称	令和８年度 第２回上下水道事業経営審議会
開催日時	令和８年７月２９日（水）午前１０時から１１時３０分まで
開催場所	上下水道局お客様センター２階会議室
出席者氏名 （委員）	平岡委員、鈴木委員（オンライン）、天神原委員、柿木原委員、 坂元委員、轟木委員、杉元委員、川村委員、（計８名）
欠席者氏名 （委員）	今村委員、福山委員、松宮委員、北野委員（計４名）
事務局	日高上下水道局長 横井総務課長、紺谷水道課長、遠矢下水道課長 田村水道課副課長、桑畑下水道課副課長 細山田総務課主幹、橋本総務課主幹 西村総務課副主幹、野田総務課副主幹、平田総務課副主幹 藤井主任主事、丸水主事
傍聴者	無
次 第	1 開 会 2 局長あいさつ 3 会長あいさつ 4 審議事項 ・都城市新水道ビジョンの改訂について 5 閉 会

（会議の経過）

発言者	議題・発言内容等
事務局	【開会】開会宣言 郵送済み資料の２４ページに数値の修正があったため、正誤表を配布した旨を説明。 本日の質問票３部を机上に置いている旨を案内。 前回欠席の鈴木委員（宮崎大学工学教育研究部教授）及び柿木原委員（都城市自治公民館連絡協議会会長）を紹介。
局長	【局長あいさつ】 本日の開催への謝意を述べるとともに、上下水道局の取組として、令和４年台風１４号により甚大な浸水被害を受けた下川東地区に可搬式ポンプを新たに導入し、７月より運用を開始したことを報告した。同ポンプは学校プールを約９０秒で排水できる能力を有し、避難時間の確保と浸水被害の軽減に寄与するものであること、また同地区においてバイパス管路も計画中であること

	とを説明した。続いて、施設の老朽化・耐震化対応や労務単価の高騰など厳しさを増す事業環境において、持続可能な経営基盤の構築が重要であることを述べ、委員に対し忌憚のない意見を求めた。
会長	【会長あいさつ】 会長より、前日に他地域で発生した大規模災害への哀悼の意を表された上で、災害発生時には断水等の水道被害も生じることから、耐震化対策のより一層の推進を求められた。 また、第1回審議会では上下水道事業の内容や施設の耐震化・経営状況について全体像を共有できたことの意義を述べ、本日は水道ビジョンの改訂について詳しく審議するとして、委員に率直な意見を求める会長挨拶があった。
事務局	【委員出席状況報告】 委員8名（会場7名、オンライン1名）の出席、都城市上下水道事業経営審議会条例（以下、「条例」）第7条第3項の規定により、会議成立していることを報告。本審議会は原則公開であり、議事内容は後日市ホームページに掲載する旨を説明。
会長	【審議事項】 議題「都城市新水道ビジョンの改訂について」、事務局より説明を求めます。

基本目標「持続」についての説明及び質疑

発言者	議題・発言内容等
事務局	「都城市新水道ビジョンの改訂について」スライド資料により、基本目標の「持続」について説明。 あわせて、事前に委員から寄せられていた質問について、次のとおり回答。 Q1）施設管理の第三者委託の具体的な形態について A1）浄水場施設などの運転管理の一部を委託している状況で、点検・保守・修繕などを含めて包括的に委託することを想定しています。 Q2）平均経験年数が短い理由について A2）人事異動により、水道事業を経験した職員が増えることにより、広域的な災害が発生した場合など、他部局からの応援が容易となるメリットがある反面、局内に経験が豊富な職員が在籍していることのメリットは薄れてしまいますので、技術の継承という観点からは、人材育成の取り組みは重要な課題であると認識しております。
委員	施設利用率の目標値について、全国平均の60％に近づけていく趣旨でしょうか。
事務局	全国平均に近づけるものではなく、約30％の余裕率を確保して災害時にも対応できる状態を維持することを目指しています。全国的には人口減少による使用量の減少に伴い施設利用率は低下傾向にあります。
委員	アセットマネジメントとは具体的にどのような取組でしょうか。

事務局	法定耐用年数を超えても実際には使用可能な資産については、更新時期を計画的に先延ばしにすることで効率的な更新を図るものです。
委員	課題の整理（第１号から第１７号）と目標値との対応関係が資料上わかりにくいのですが。
事務局	審議会資料については、より見やすい資料の作成に努めます。
委員	料金回収率が令和４年度から急激に低下した原因は何でしょうか。
事務局	資材価格高騰・労務単価の上昇・耐震化投資による減価償却費の増加が複合的に影響したものです。
委員	施設の長寿命化に関する記述において「アセットマネジメント」と「ストックマネジメント」の用語の使い分けを整理すべきではないでしょうか。 施設管理に特化した文脈ではストックマネジメント、財政計画との整合まで含めた場合はアセットマネジメントとの使い分けが適切と考えます。
事務局	ご指摘については、今後の改訂時に用語の整理を検討します。
会長	用語の使い分けについては引き続き検討してください。

基本目標「安全」についての説明及び質疑

発言者	議題・発言内容等
事務局	基本目標「安全」について説明。 あわせて、事前に委員から寄せられていた質問について、次のとおり回答。 Ｑ３）水源水質へのリスクを排除・低減する方策の有無について Ａ３）本市の水源の多くは深井戸であり地表の影響を受けにくいですが、一部の湧水や流水を水源とする施設については、巡視・水質検査・関係機関との連携により未然防止に努めてまいります。
委員	目標数値の欄に国の基準値や推奨値を併記することで、目標の根拠や水準の高さが分かりやすくなるのではないのでしょうか。 また、企業誘致に伴う工場排水等により地下水が影響を受けることへの懸念があり、上下水道局として他部署に意見を伝える仕組みの整備を求めます。
事務局	目標値への基準値の併記については検討します。 また地下水保全については環境部局等と連携して対応してまいります。
委員	収納率と料金回収率は異なる指標なのではないのでしょうか。
事務局	料金回収率は給水にかかるコストと収益との比率を示すものであり、水道料金の収納率とは異なる指標です。なお収納率については、ほぼ１００％に近い水準を維持しています。

委員	審議会資料中の「良質な水道水である」との記述について、残留塩素濃度が低いことは「おいしい水の条件を満たす」ことであり「良質」という表現の整理をお願いします。また、有機化学物質や重金属についても安全性の基準値に対する比率で示していることから「安全」であることの根拠の整理をお願いします。都城市の水道水は安全基準に対して極めて低い数値を維持しており、全国的にも希少な地下水を水源とする水道事業体として、この点に自信を持ってPRすべきです。
事務局	審議会資料にて使用している表現や根拠については、整理してまいります。
会長	都城市の水源が深井戸であり全国的にも希少な恵まれた水質であることを市民に積極的にPRすることを提案します。
委員	全国的に地下水を水源とする水道事業体は少なく、この強みを経営上の訴求点として活用すべきです。水の美味しさを実感できるような広報の工夫も有効ではないでしょうか。
事務局	都城市の地下水を水源とした水道水の強みについて、今後しっかりと広報に取り組んでまいります。

基本目標「強靱」についての説明及び質疑

発言者	議題・発言内容等
事務局	基本目標「強靱」について説明。
委員	想定を超える地震が発生した場合の対応として、耐震化の数値目標の達成と並行して、非常時の危機管理体制（課題第5号から第8号に対応する取組）についても数値化が難しい部分だからこそ、何をどのように行うのかをビジョンに明記することが重要と考える。
事務局	具体的な取組内容については検討してまいります。
委員	2040年の目標値の妥当性・達成可能性について、水道料金水準とアセットマネジメントの実施を前提とした上でどこまで確信を持って達成できるのか、また目標が達成できなかった場合の対応方針もビジョンに明記しておくべきではないでしょうか。
事務局	財政計画に基づいて算出した目標値であり、無理のない計画として設定しています。達成状況については、毎年度の実績値と目標値の差を確認し、必要な対応を検討しながら目標達成に向けて取り組んでまいります。

今後のスケジュール、閉会

発言者	議題・発言内容等
事務局	今後のスケジュールを資料により説明。
会長	以上で全ての審議が終了しました。 本日の審議を通じ、用語の使い方や資料のまとめ方について委員からご意見をいただきました。これらについては微修正をお願いします。

	全体の枠組みとして大きな指摘はなかったことから、都城市新水道ビジョンの改訂案については妥当であるという結論とします。 また、次期改訂については下水道事業を加えた上下水道ビジョンとして策定していくことを審議会の意見として取りまとめます。 委員の皆様の貴重なご意見と議事の進行へのご協力に感謝申し上げます。 それでは、進行を事務局にお返しします。
事務局	全体を通じて委員の皆様から何かありますでしょうか。 後日、何かあれば、本日配布の「質問連絡票」や電話・メールにてご連絡いただければ、次回審議会で説明します。 次回（第3回）審議会は、パブリックコメント終了後の、11月に開催予定です。日程については改めて調整いたします。 今回は、「新水道ビジョン改訂に係るパブリックコメントの結果について」、「下水道事業における事業計画について」、「令和7年度決算及び決算を踏まえた今後の経営見通しについて」の審議を予定しています。 それでは、委員の皆様におかれましては、お忙しい中会議にご出席いただき、また様々なご意見を賜り、誠にありがとうございました。 以上をもって、審議会の全てを終了します。 【閉 会】